

XI_1. 理解度からみた各項目の評価（項目間クロス集計・コレスポネンス分析）

全体理解度(問F)と、それ以外の全学共通設問 問A～問Hのクロス集計を行うことで、理解度における各設問ごとの評価を集計した。

その結果、全ての設問において「そう思う(計)」のスコアが最も高いのは、最も高い理解度を示す「かなり理解できた」層であった。また、理解度が下がるにつれて、各設問の「そう思う(計)」のスコアも低くなる。

更に、コレスポネンス分析(※)を通して、クロス集計における割合の比較のみではわからない、各選択肢どうしの関係性の強弱が視覚的に明らかになった。

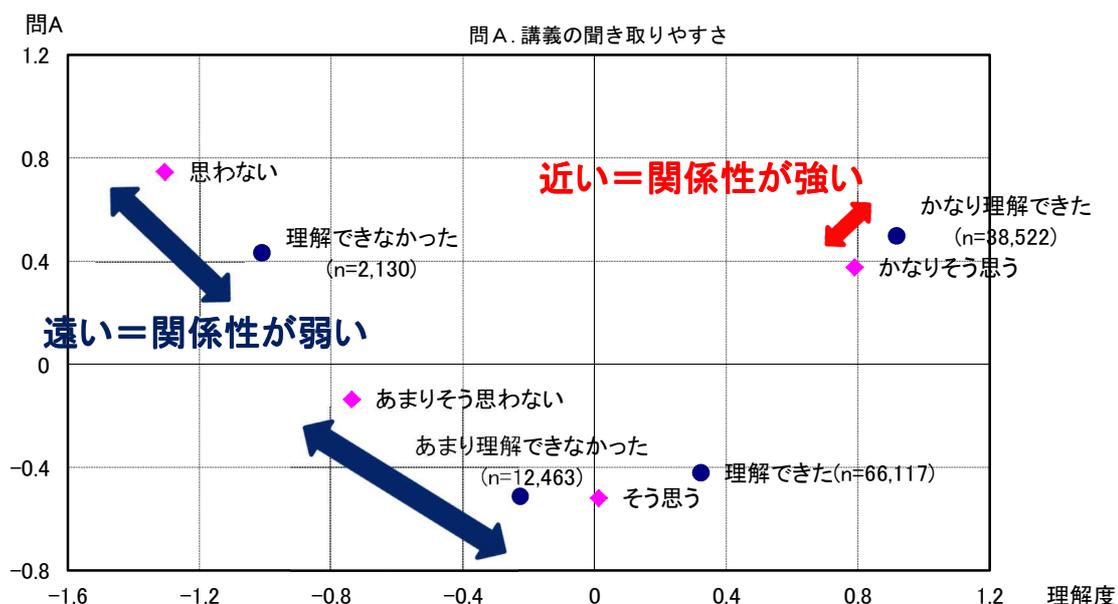
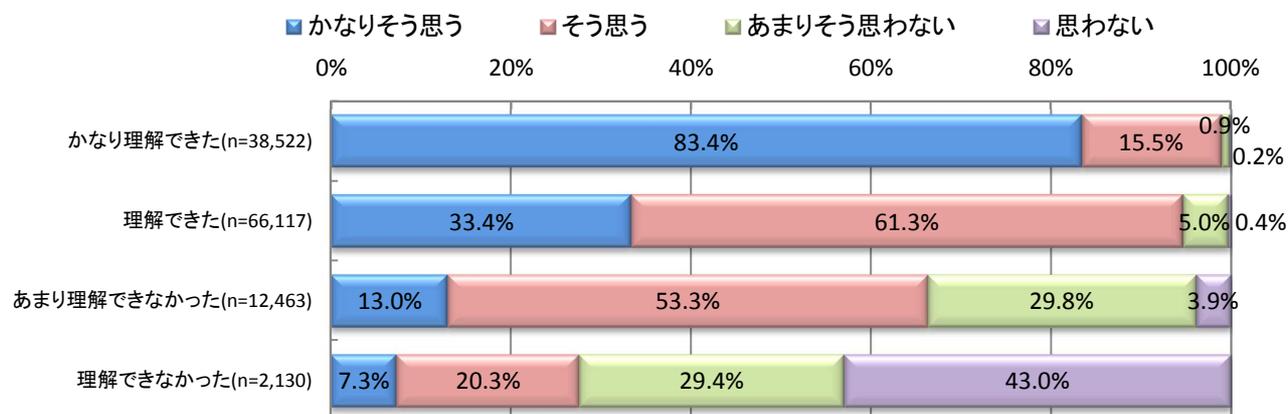
教員の働きかけ(問A～問C)は、「かなり理解できた」層との関係性が強くみられる。また、当然の結果ではあるが、授業の成果(問G、問H)と理解度は、総じて密接な関係があることがわかる。

一方、学生の授業に対する意欲(問D、問E)は、全体理解度に与える影響が強いが、「そう思う(計)」のスコアは、他項目より低い。

授業への意欲を高めることが、全体理解度の更なる向上につながるのであれば、授業の事前準備や事後の展開など、学生の主体的な学びを促し意欲を高めるために効果的な施策を検討することが、今後の課題といえる。

※コレスポネンス分析とは:クロス集計結果を用いて、表側の要素と表頭の要素間の関係性を1枚のマップとして表したものである。数値ではなく、距離や位置で関係性の強弱をみる事ができる。

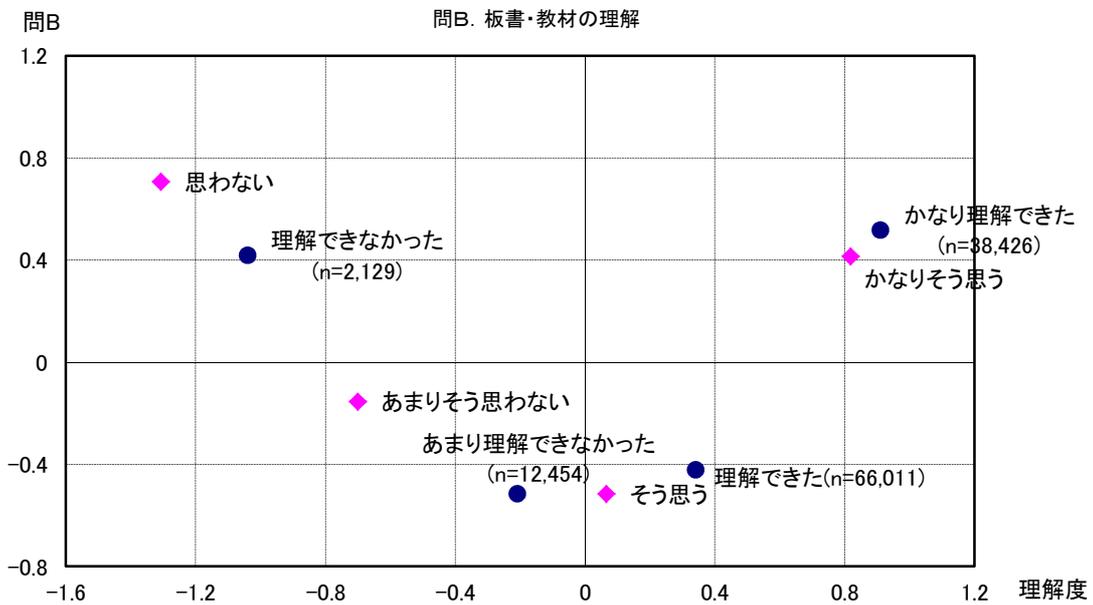
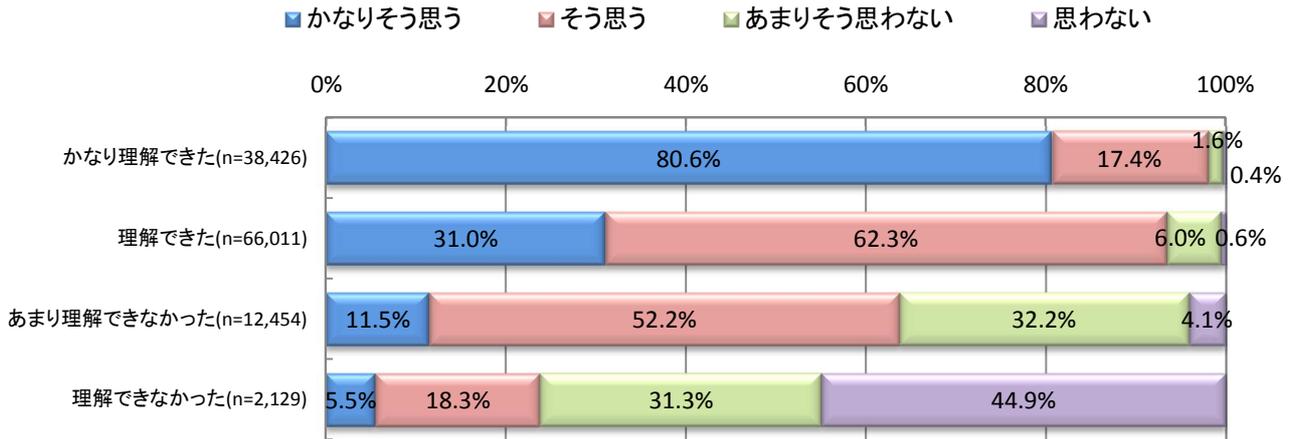
1. 教員の話や指示は明確で聞き取りやすかったですか（問A）



「講義の聞き取りやすさ」と「全体理解度」の、各要素の関係をみると、「かなりそう思う⇔かなり理解できた」は座標の距離が近く、「思わない⇔理解できなかった」「あまりそう思わない⇔あまり理解できなかった」は、遠いことがわかる。

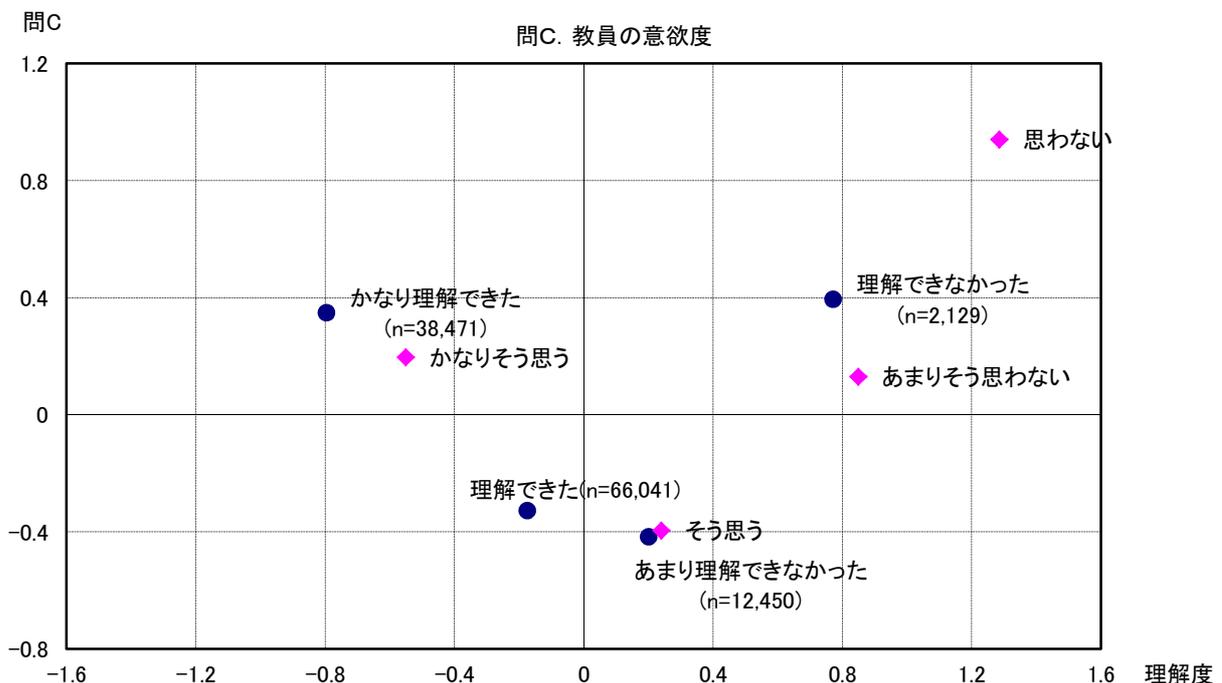
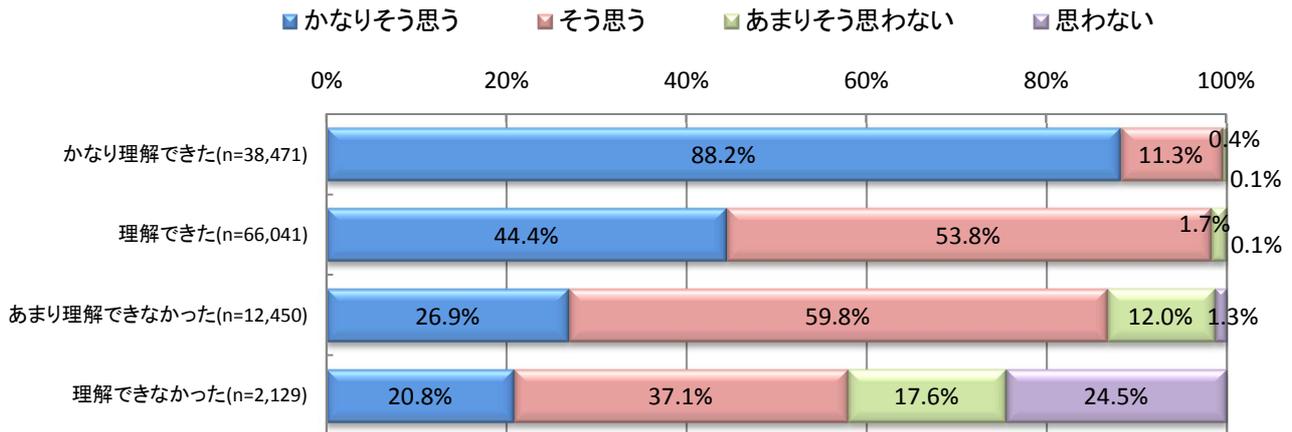
つまり、「講義が聞き取りやすい」ことと「理解できた」ことは、強い関係性があることがわかる。逆に、「講義が聞き取りにくい」ことと、「理解度の低さ」との関係性は弱いといえる。

2. 板書や教材は理解の助けになりましたか（問B）



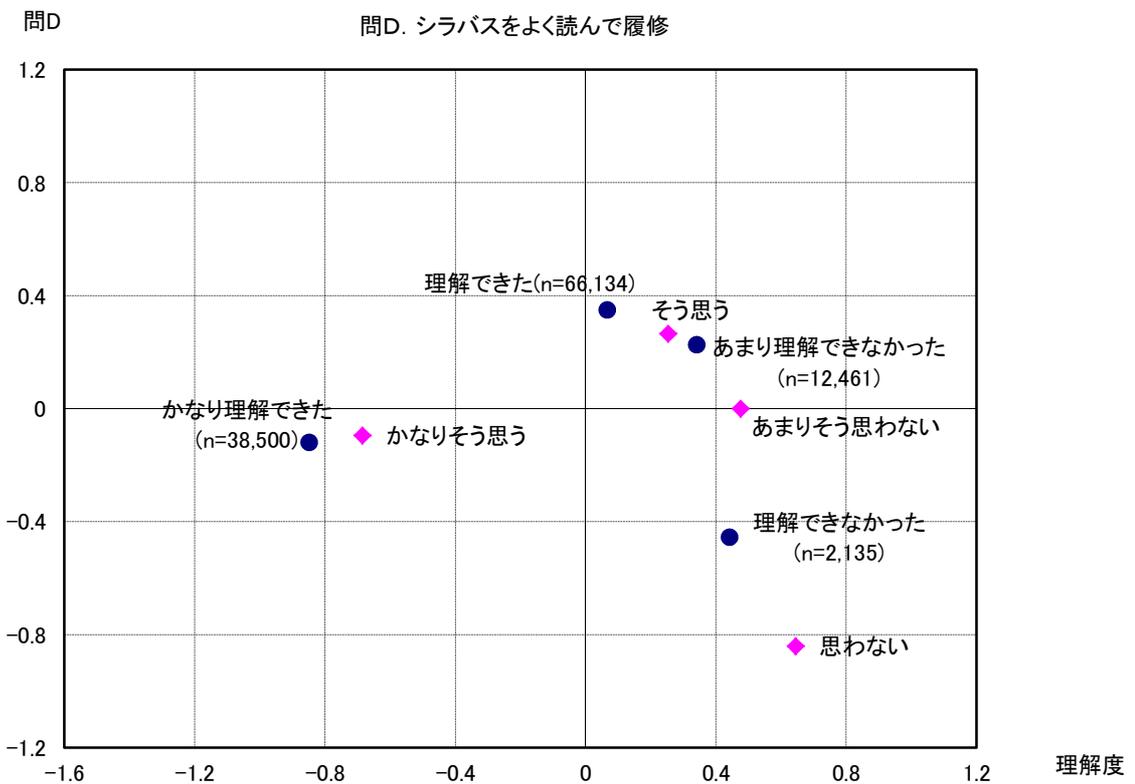
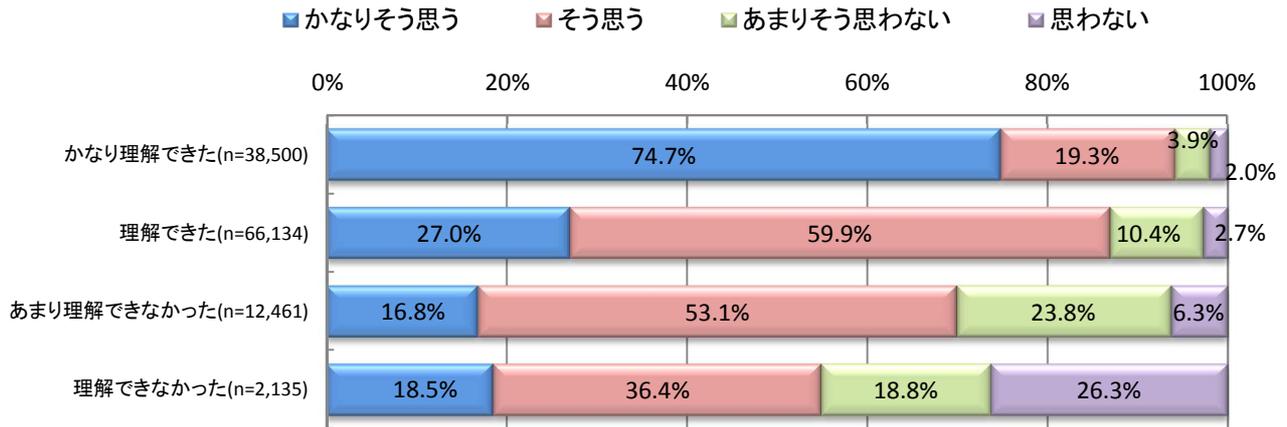
「板書・教材の理解」について、
 「かなりそう思う⇔かなり理解できた」に、強い関係性がみられた。
 一方で、板書や教材が理解の補助に不十分であることと、理解度の関係性は弱い。

3. 教員は意欲的に授業を進めていましたか (問C)



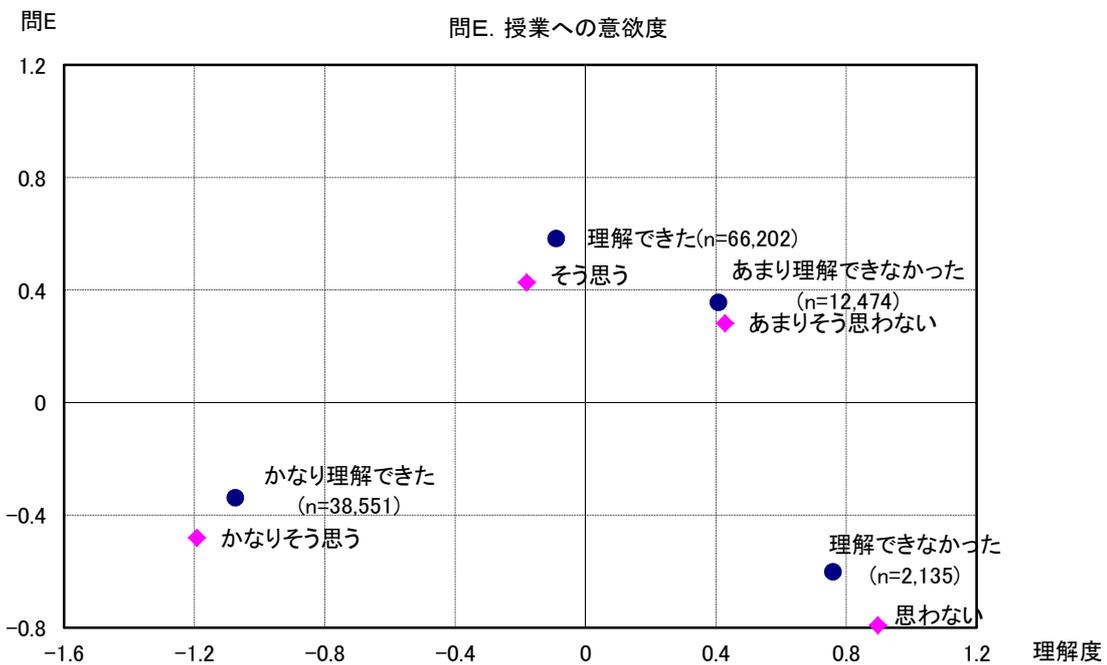
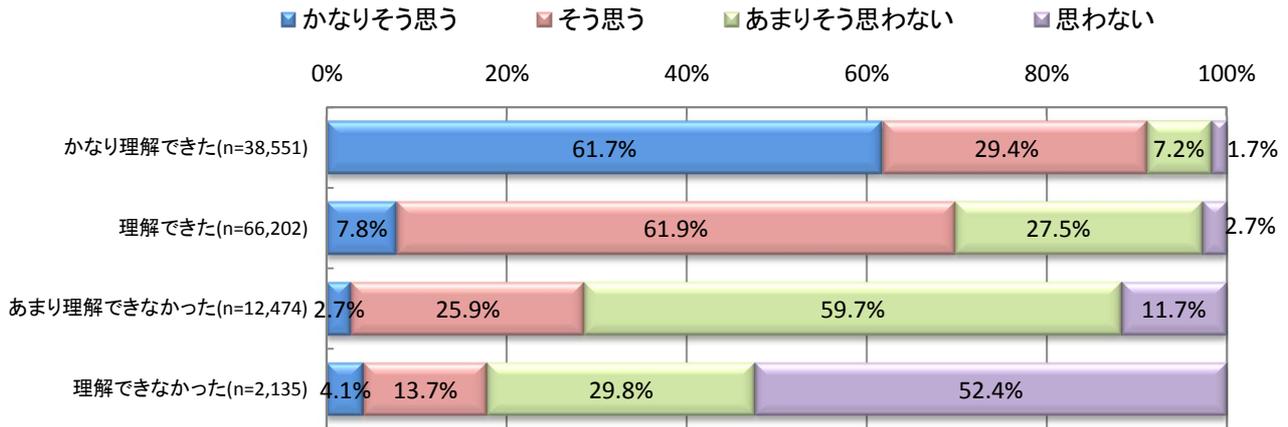
「教員の意欲」について、
 「かなりそう思う⇔かなり理解できた」に、やや強い関係性がある。
 しかしそれ以上に、
 「そう思う⇔あまり理解できなかった」の関係性が強い。
 これは、教員の意欲よりも、それ以外の要素が理解度に大きく影響することを意味する。この結果は、前年度と同様である。

4. シラバスをよく読んでこの授業を履修しましたか (問D)



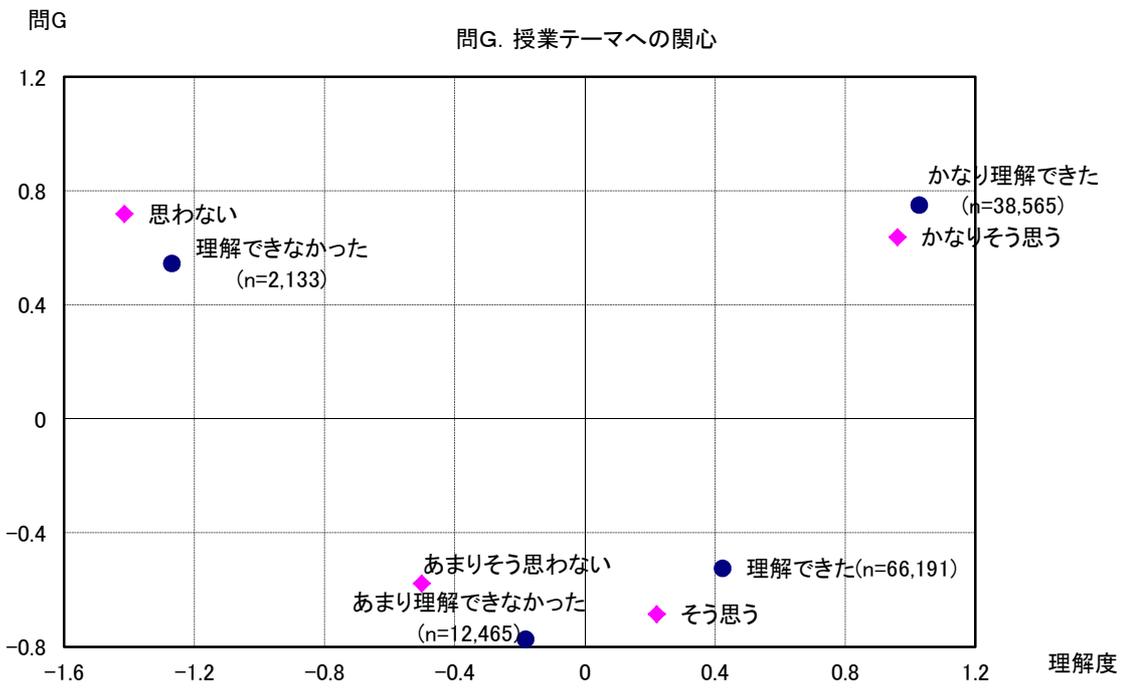
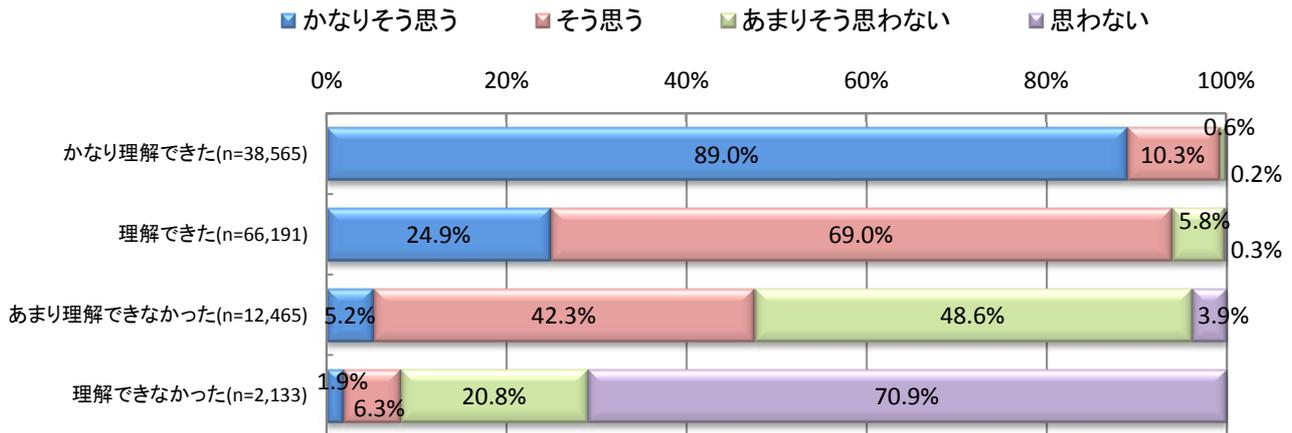
「シラバスをよく読んで履修」について、
 「かなりそう思う⇔かなり理解できた」
 「そう思う⇔理解できた」に、強い関係性がある。
 しかしそれ以上に、
 「そう思う⇔あまり理解できなかった」の関係性が強い。
 これは、シラバスをよく読んで履修したかどうかよりも、それ以外の要素が、理解度に影響することを意味する。

5. 予習・復習するなど授業に意欲的に取り組みましたか (問E)



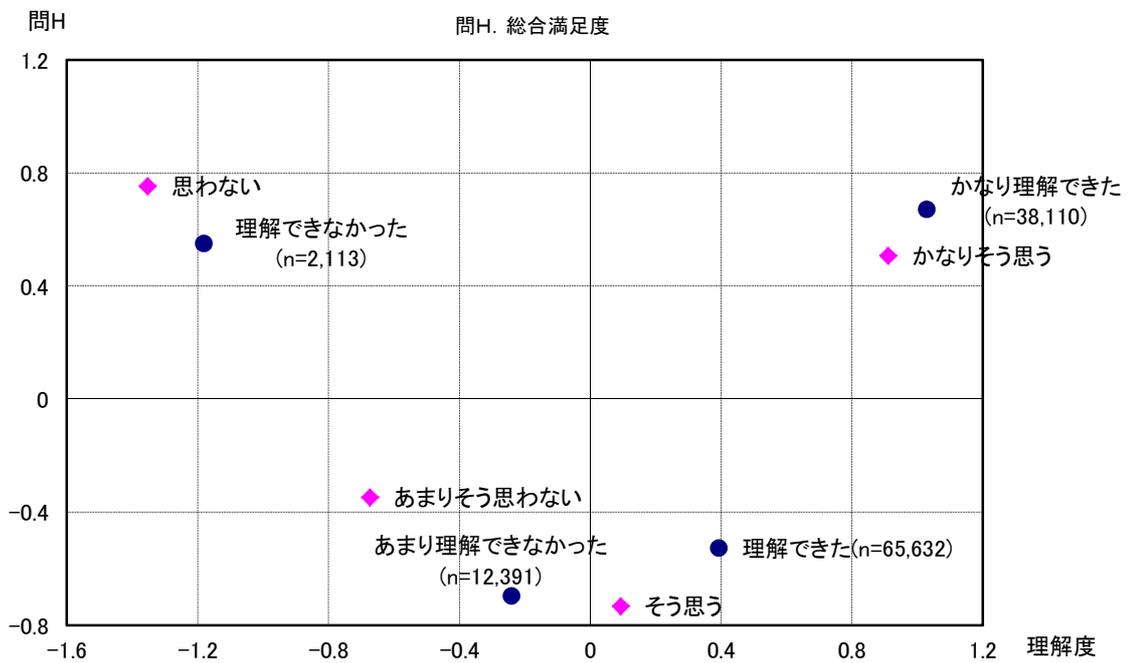
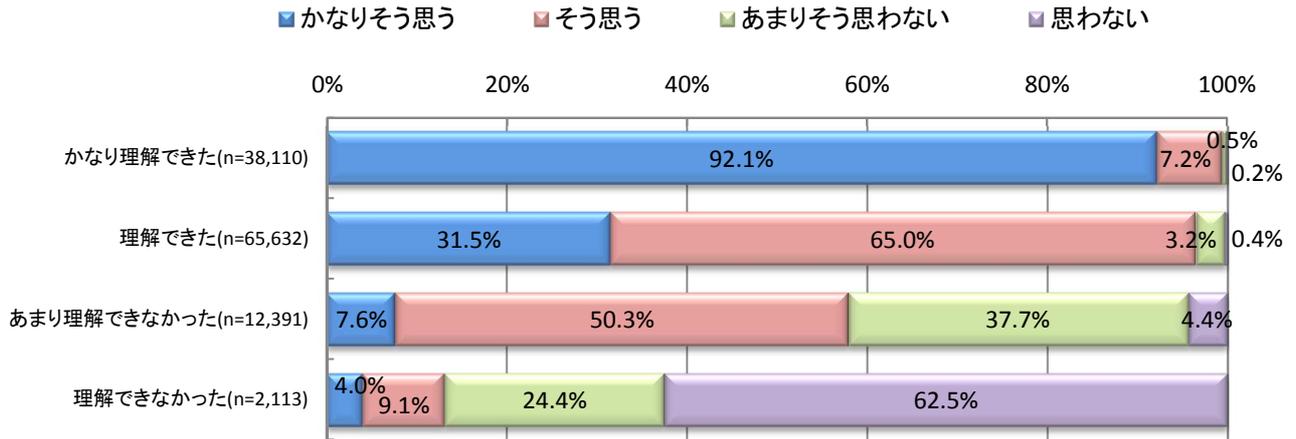
「授業への意欲度」について、
 「かなりそう思う⇔かなり理解できた」
 「そう思う⇔理解できた」
 「あまりそう思わない⇔あまり理解できなかった」
 「思わない⇔理解できなかった」の、いずれにおいても強い関係性があり、授業への意欲と理解度は、直結していることがわかる。

6. 授業のテーマへの関心が高まりましたか (問G)



「授業テーマへの関心」について、
 「関心⇔理解」の関係性は、総じて強い。
 特に、高いものどうし
 「かなりそう思う⇔かなり理解できた」
 低いものどうし
 「思わない⇔理解できなかった」の関係性が、強くみられる。

7. この授業を履修して良かったですか (問H)



「総合満足度」について、
「満足⇔理解」の関係性は、総じて強い。

XI_2. 満足度からみた各項目の評価（項目間クロス集計・コレスポネンス分析）

総合満足度(問H)と、それ以外の全学共通設問 問A～問G のクロス集計を行うことで、満足度における各設問ごとの評価を集計した。

その結果、全ての設問において、「そう思う(計)」のスコアが最も高いのは、最も高い満足度を示す「かなり満足できた」層であった。また、満足度が下がるにつれて、各設問の「そう思う(計)」のスコアも低くなる。

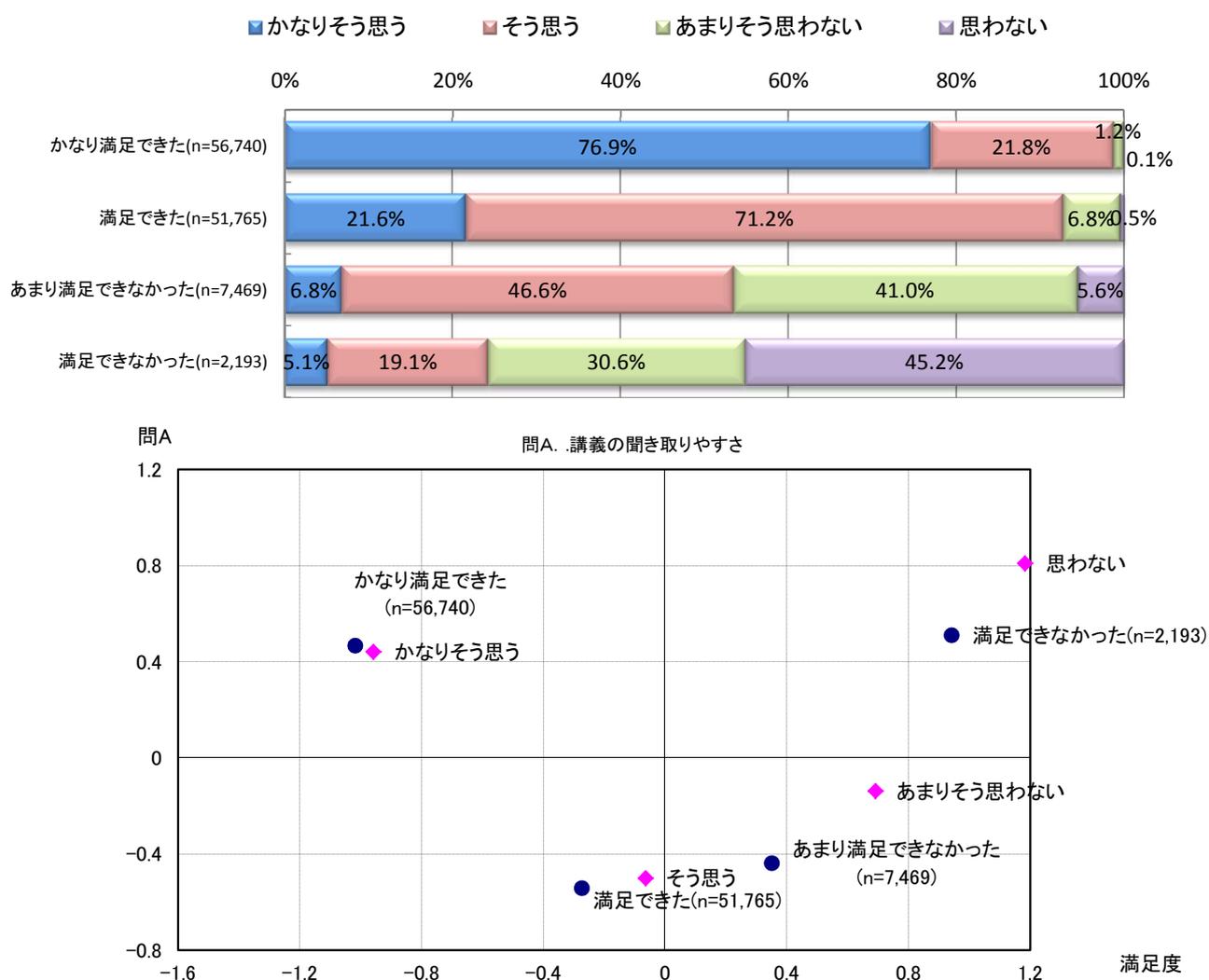
更に、コレスポネンス分析を通して、クロス集計における割合の比較のみではわからない、各選択肢どうしの関係性の強弱が視覚的に明らかになった。

教員の働きかけ(問A～問C)は、「かなり満足できた」層との関係性が強くみられる。また、授業の成果(問F、問G)と満足度は、総じて密接に関係していることがわかる。

一方、学生の授業に対する意欲(問D、問E)は、総合満足度に与える影響が強いが、「そう思う(計)」のスコアは、他項目より低い。

授業への意欲を高めることが、総合満足度の更なる向上につながるのであれば、授業の事前準備や事後の展開など、学生の主体的な学びを促し意欲を高めるために効果的な施策を検討することが、今後の課題といえる。

1. 教員の話や指示は明確で聞き取りやすかったですか（問A）



「講義の聞き取りやすさ」について、

「かなりそう思う⇔かなり満足できた」には、非常に強い関係性がみられる。

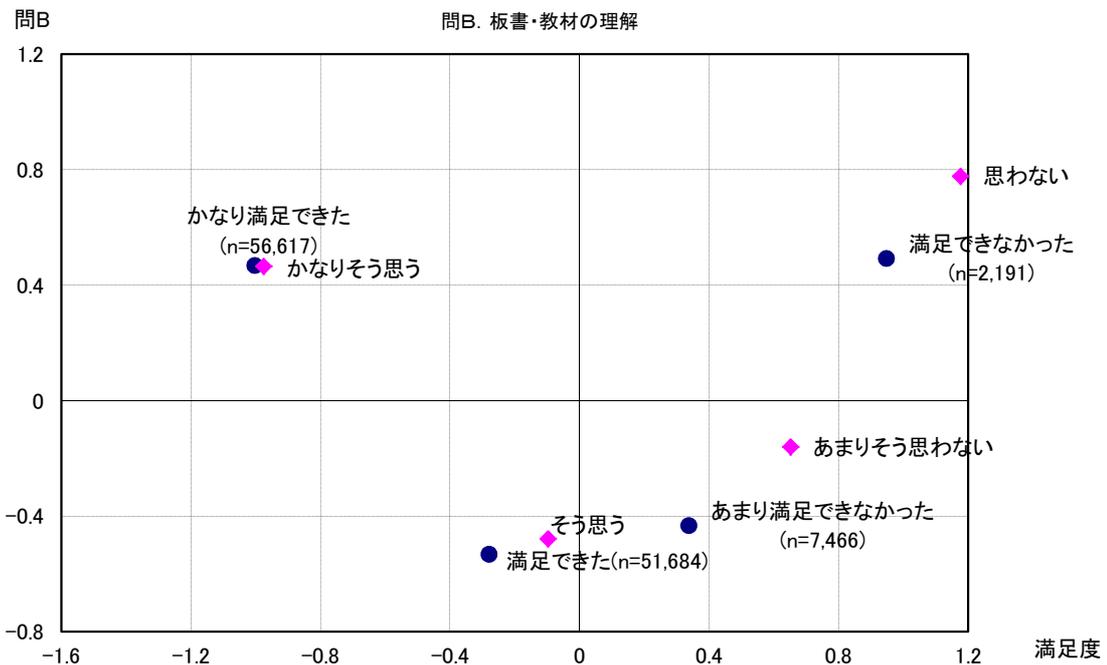
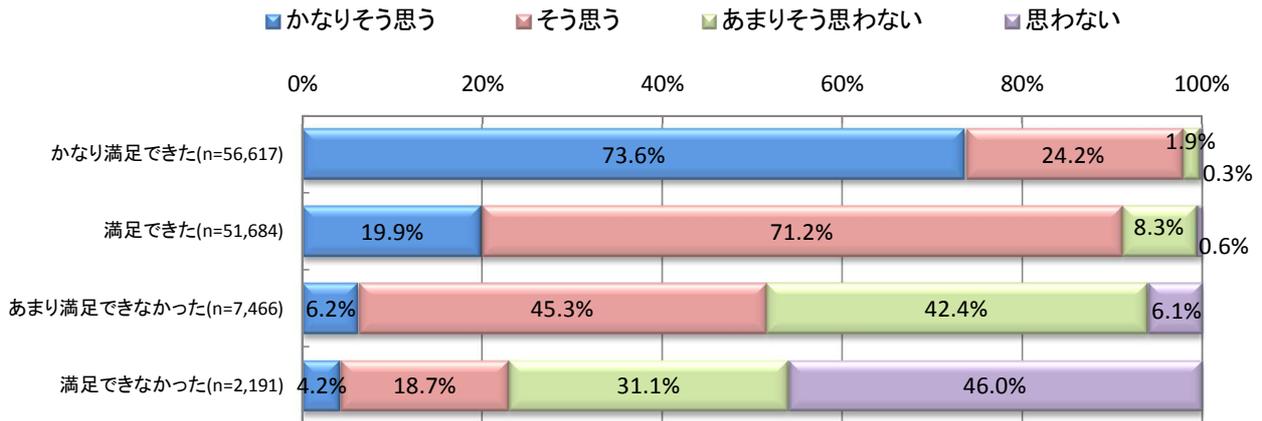
「そう思う⇔満足できた」にも、強い関係性がみられる。

一方で、

「あまりそう思わない⇔あまり満足できなかった」

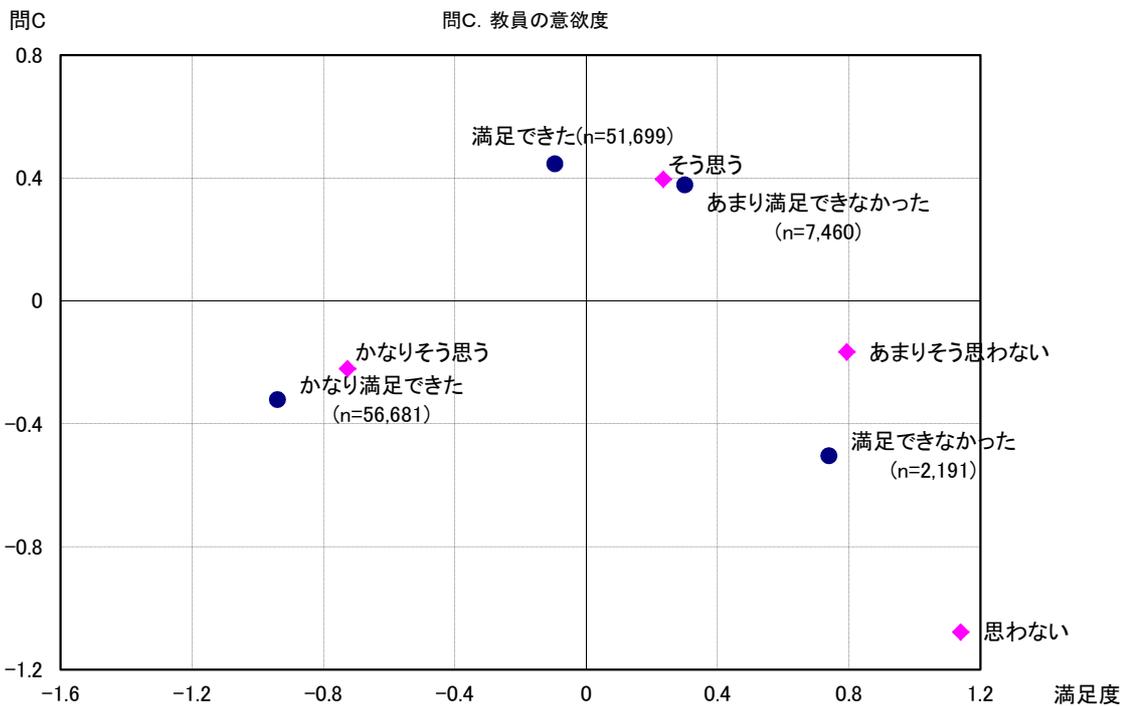
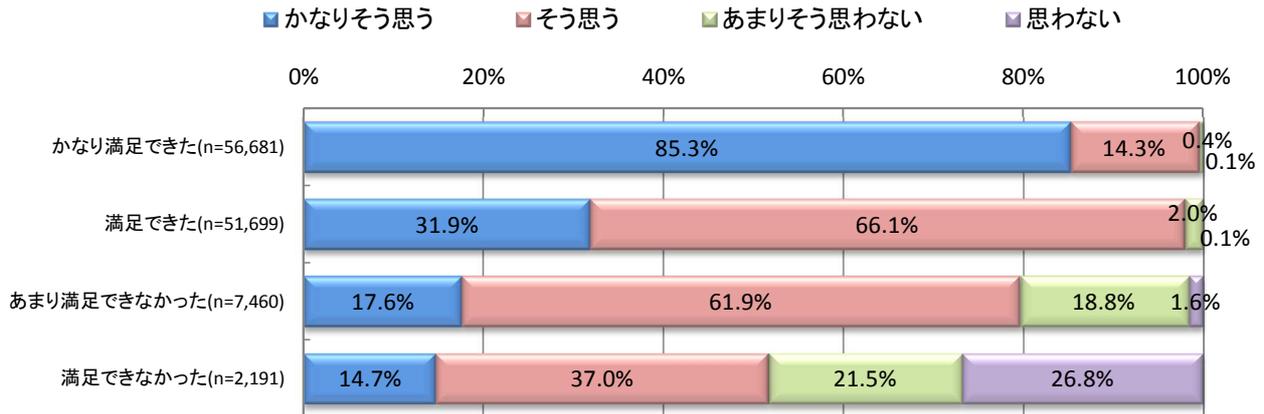
「思わない⇔満足できなかった」の関係性は弱く、講義が聞き取りにくいことと満足度の間には、関係性はみられない。

2. 板書や教材は理解の助けになりましたか（問B）



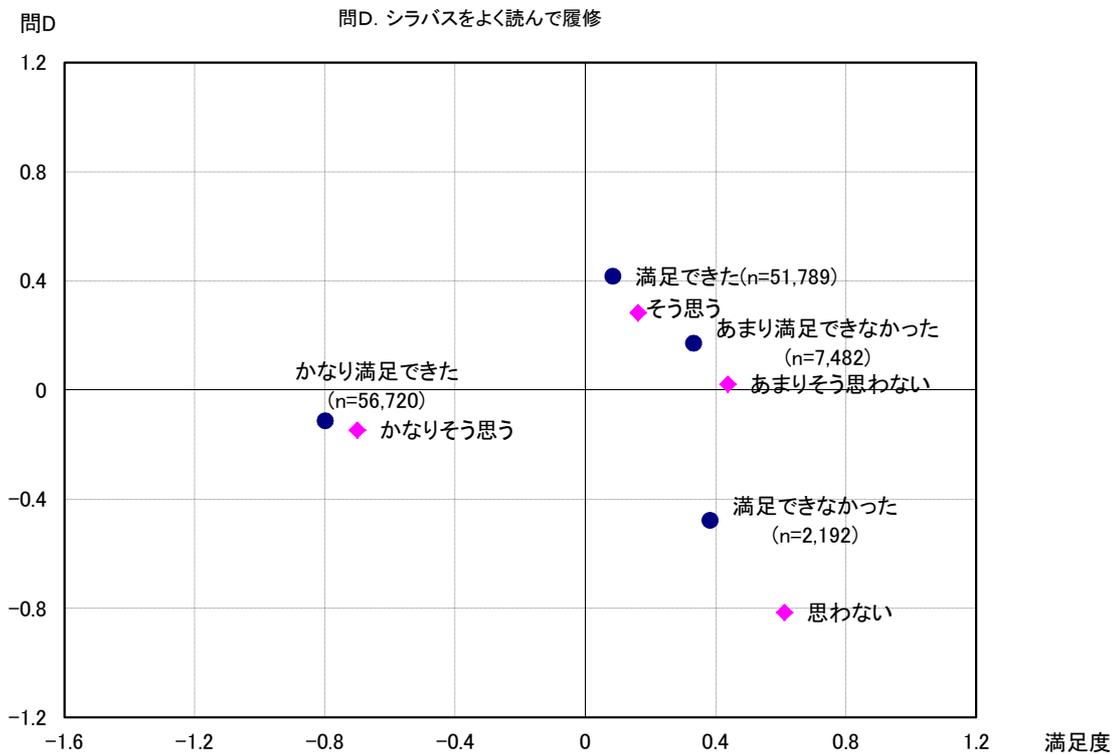
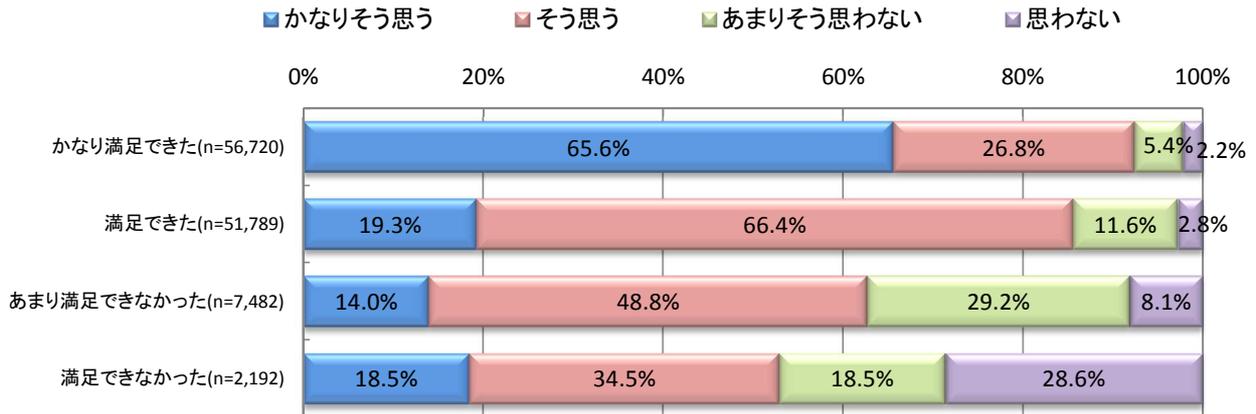
「板書・教材の理解」について、
 「かなりそう思う⇔かなり満足できた」に、非常に強い関係性がみられた。
 「そう思う⇔満足できた」にも、強い関係性がみられた。
 一方で、
 「あまりそう思わない⇔あまり満足できなかった」
 「思わない⇔満足できなかった」の関係性は弱く、板書や教材が理解の補助に不十分であることと、満足度の間には、関係性はみられない。

3. 教員は意欲的に授業を進めていましたか (問C)



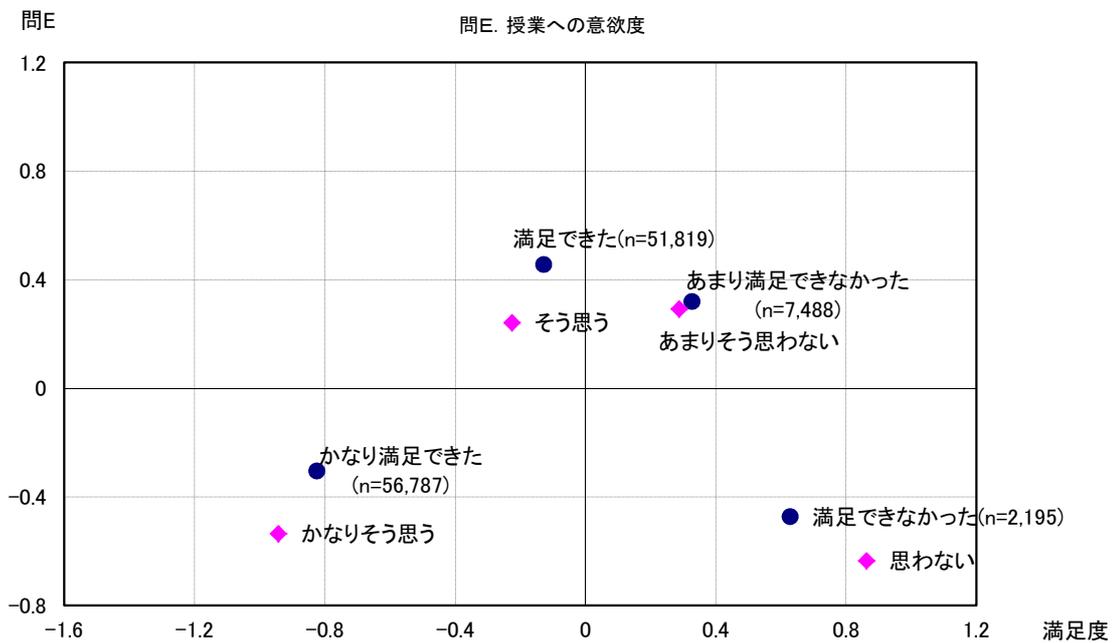
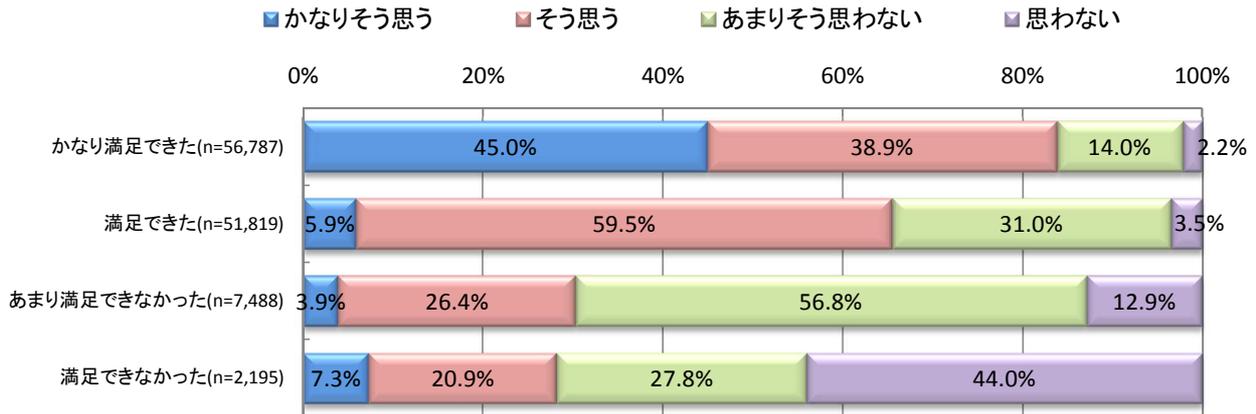
「教員の意欲」について、
 「かなりそう思う⇔かなり満足できた」に、やや強い関係性があるが、
 それ以上に
 「そう思う⇔あまり満足できなかった」の関係性が強い。
 これは、教員の意欲よりも、それ以外の要素が満足度に大きく影響することを意味する。

4. シラバスをよく読んでこの授業を履修しましたか (問D)



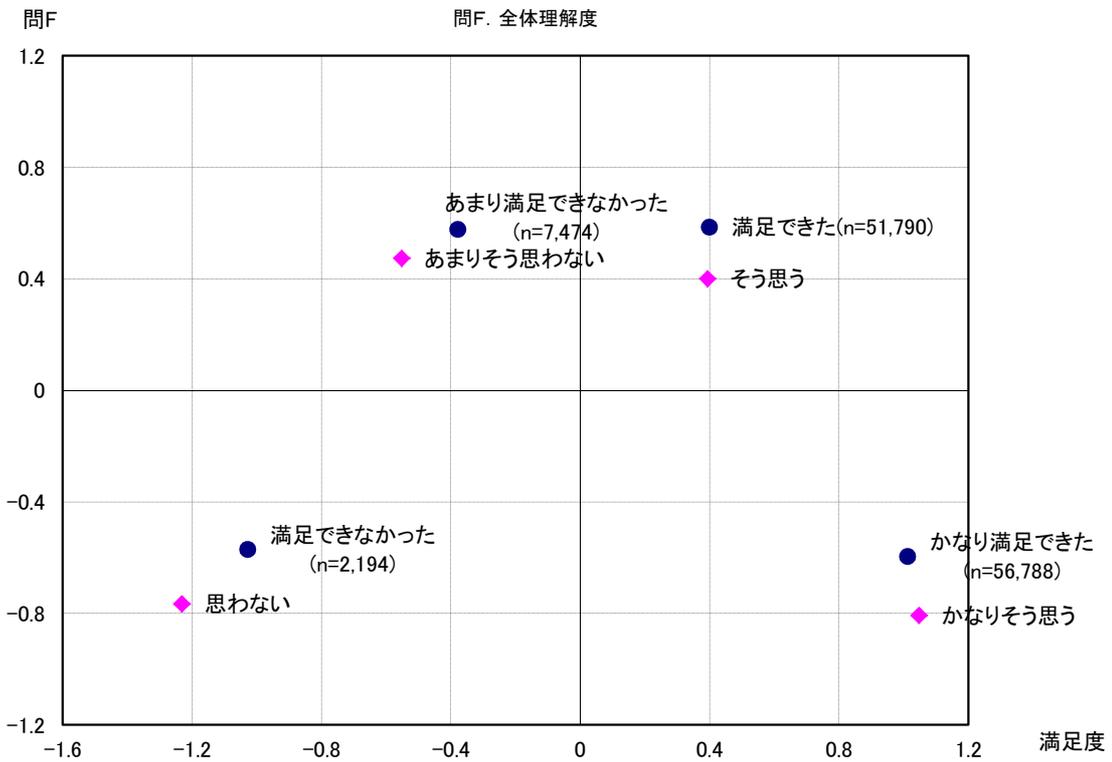
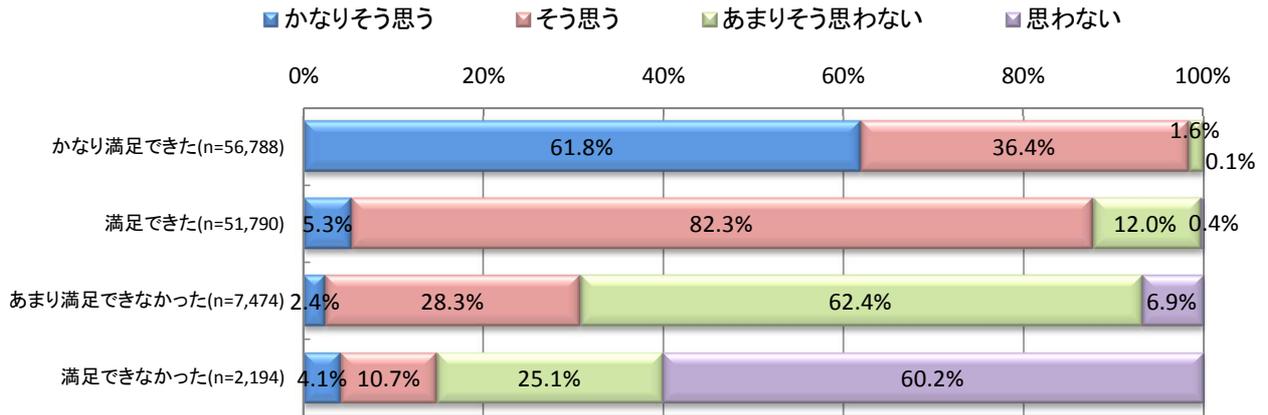
「シラバスをよく読んで履修」について、
 「かなりそう思う⇔かなり満足できた」
 「そう思う⇔満足できた」の関係性が強いが、
 「思わない⇔満足できなかった」の関係性は弱い。

5. 予習・復習するなど授業に意欲的に取り組みましたか (問E)



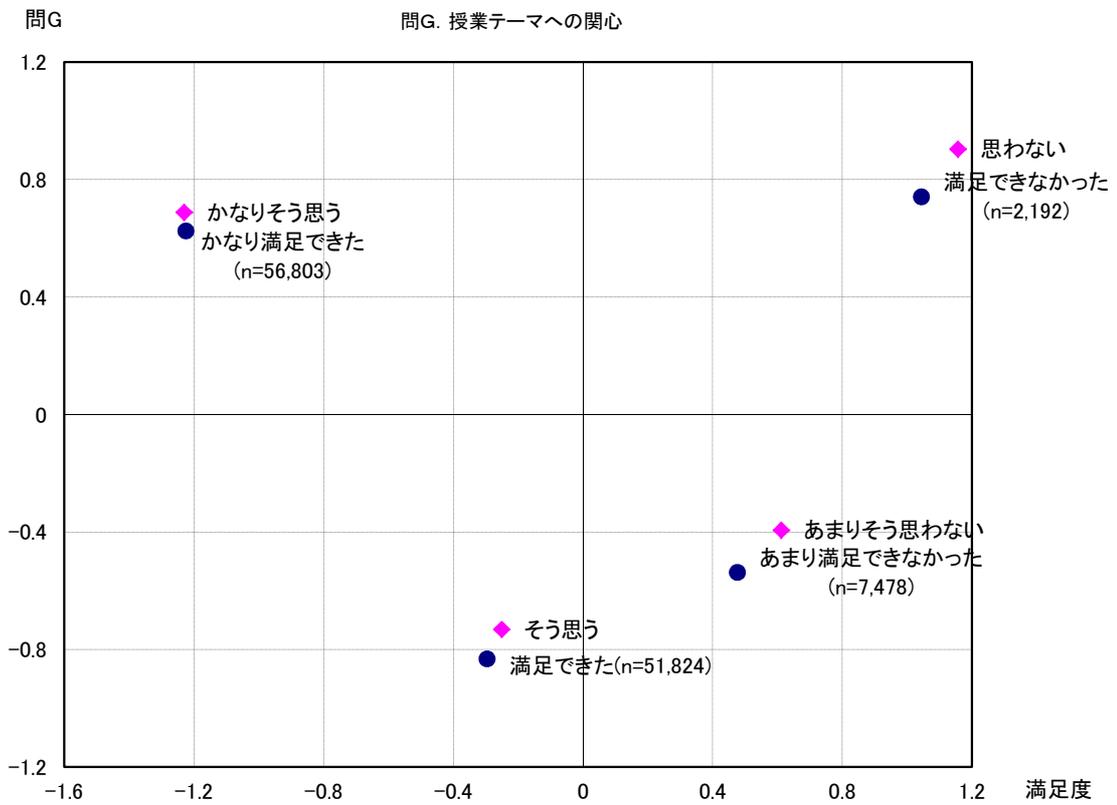
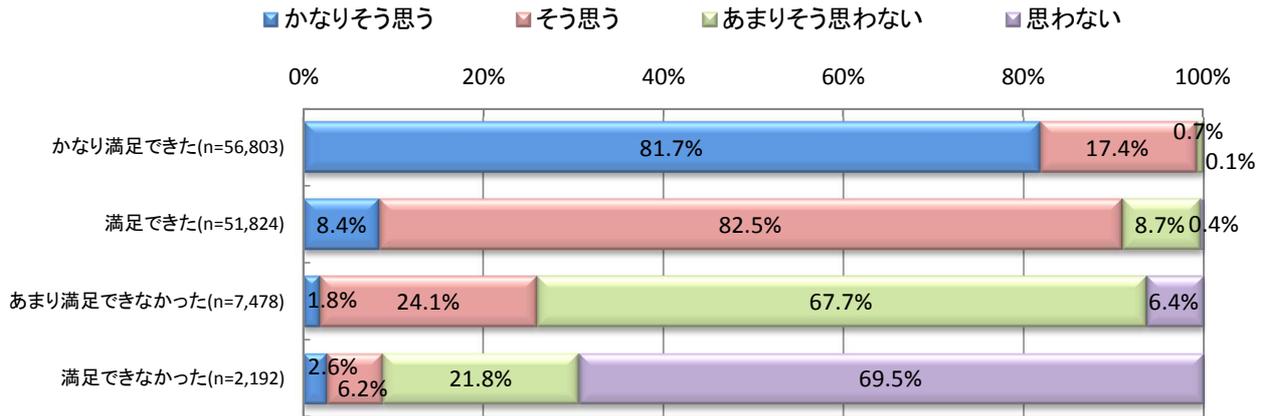
「授業への意欲度」について、
 「かなりそう思う⇔かなり満足できた」
 「そう思う⇔満足できた」
 「あまりそう思わない⇔あまり満足できなかった」
 「思わない⇔満足できなかった」
 いずれにおいても強い、もしくはやや強い関係性が存在する。
 全体理解度と同様に、授業への意欲は、総合満足度にも直結していることがわかる。

6. この授業を理解できましたか (問F)



「全体理解度」について、
「理解⇔満足」の関係性は、総じて強い。

7. 授業のテーマへの関心が高まりましたか (問G)



「授業テーマへの関心」について、
「関心⇔満足」の関係性は、総じて強い。

XII. クラス規模別評価

クラス規模別に、全学共通設問である問A～問Iについて集計した。

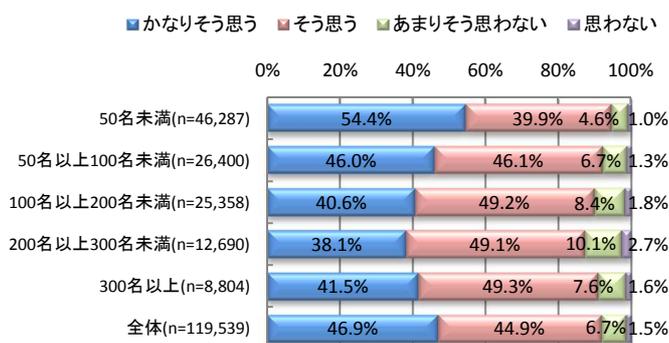
多くの設問でみられる傾向として、クラス規模「50名未満」が最もスコアが高く、次いで「50名以上100名未満」で全体と同じ程度まで下がり、100名を超えると横ばいとなる点があげられる。また、前年度と比較して異なるのは、「300名以上」では微増していることである。

一方で、「出席状況(問I)」のTop2Box(「すべて出席した」+「ほとんど出席した」)は、いずれのクラス規模も80%を超えており、クラス規模による大きな差異はなかった。他に、クラス規模による影響があまりみられなかった設問は、問D「シラバスをよく読んで履修」がある。

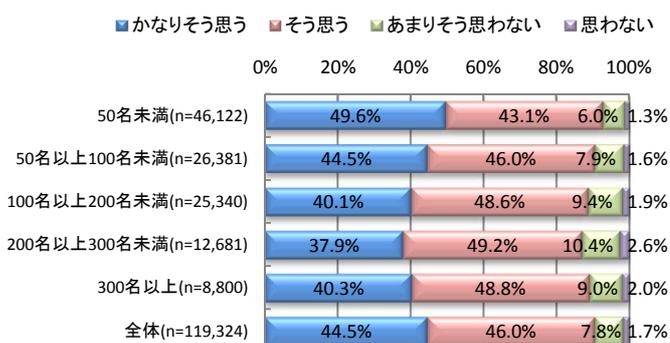
ただし、「50名未満」のクラス規模が、それ以上のクラス規模と比較して、「かなりそう思う」スコアが高い傾向にあることは、平成23年度から変わっていない。

今後は、クラス規模50名未満のスコアが高い要因の中に大規模クラスへ流用できるポイントがないか、300名以上でスコアが上昇する要因は何か、などを探り分析することが、更なる評価の改善につながるという。

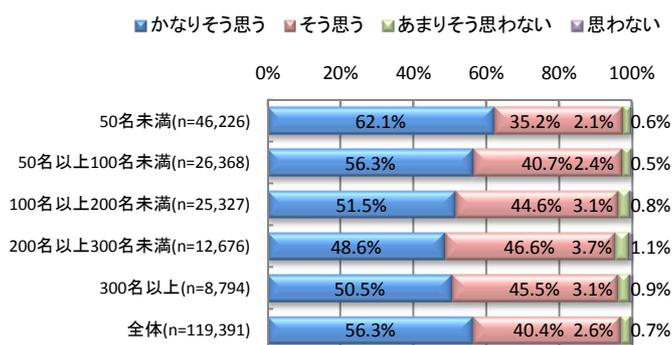
問A. 講義の聞き取りやすさ



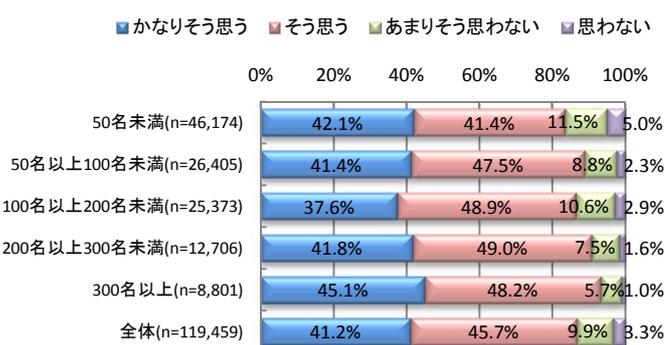
問B. 板書・教材の理解



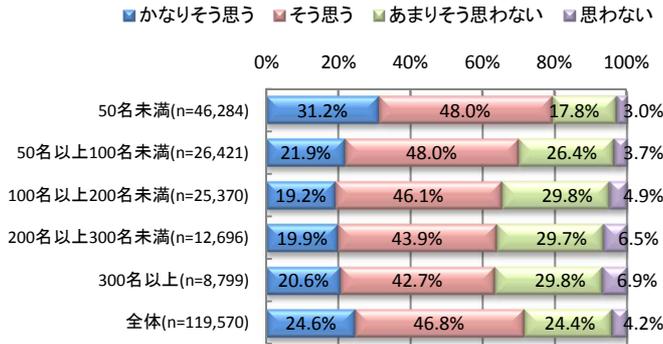
問C. 教員の意欲



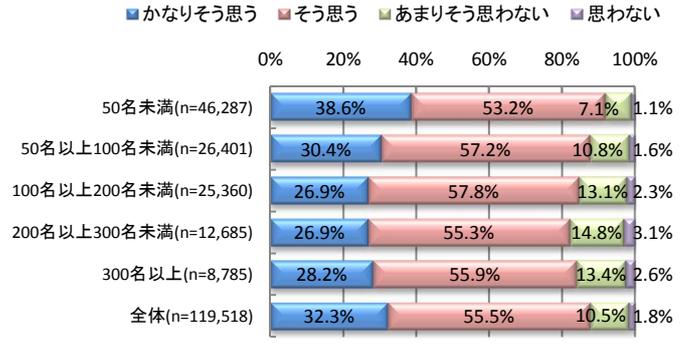
問D. シラバスをよく読んで履修



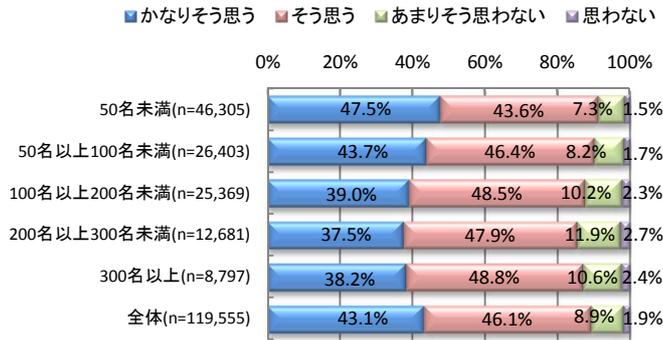
問E. 授業への意欲



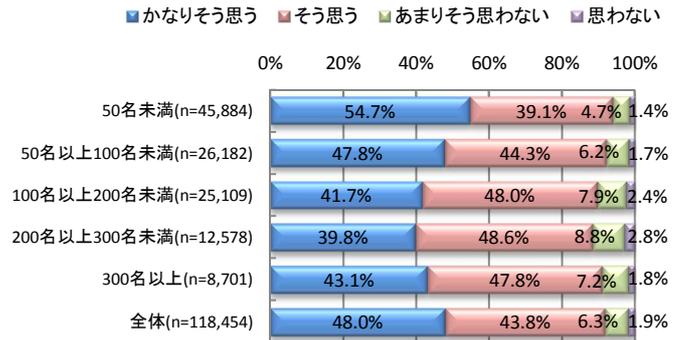
問F. 全体理解度



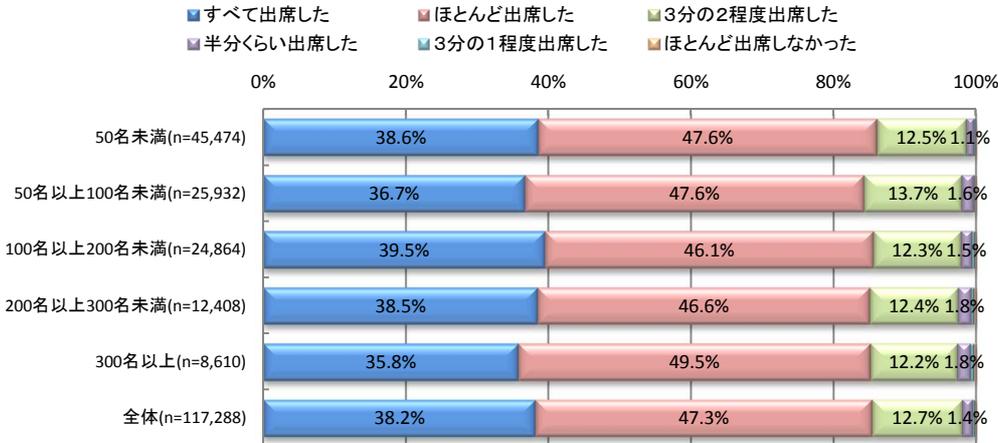
問G. 授業テーマへの関心



問H. 総合満足度



問I. 出席状況



学部・学科・諸課程別 分析編

<文学部>

●回答者プロフィール

【出席率】

文学部の出席状況は、全て出席35.3%、ほとんど出席48.9%、2/3程度出席14.0%、半分くらい出席1.3%、1/3程度出席0.3%、ほとんど出席せず0.2%であった。

●学生の理解度評価：各項目別

【学生の理解度(学部全体)】

「そう思う(計)」「かなりそう思う」+「そう思う、以下同じ)は88.3%と、平均をやや上回った。また、「思わない」と回答した学生は1.7%だった。

【学生の理解度(クラス規模別)】

「そう思う(計)」は、300名以上のクラス規模で最も高く92.3%であった。次いで高いのは、50名未満のクラス規模で91.2%である。文学部では、クラス規模による大きな差異はみられなかった。

【学生の理解度(学年別)】

「そう思う(計)」が最も高かったのは「3年」(90.8%)で、最も低かったのは「1年」(82.4%)だった。「1年」は他の学年と比べて、理解度がやや低い傾向であった。

【学生の理解度(学科別)】

「そう思う(計)」が最も高かった学科は「史学科」(90.0%)で、最も低かったのは「哲学科」(87.6%)であった。学科による大きな差異は、みられなかった。

【学生の理解度(曜日・時限別)】

「そう思う(計)」が最も高かった曜日は「月曜」(90.1%)で、最も低かったのは「木曜」(87.0%)であったが、曜日による大きな差異はみられなかった。
「そう思う(計)」が最も高かった時限は「6時限」(91.9%)で、最も低かったのは「4時限」(87.4%)であったが、時限による大きな差異はみられなかった。

【学生の理解度(科目区分別)】

日本文学科と史学科において、必修科目と選択科目の間で大きな差異がみられた。
「そう思う(計)」は、日本文学科では、必修科目より選択科目のほうが、10.7ポイント高かった。史学科では、逆に選択科目より必修科目のほうが、9.0ポイント高かった。

【学生の理解度と他の項目との相関】

上位5項目は、次のとおりであった。

授業に対する理解度と、「授業テーマへの関心度」「総合満足度」は、関係性があることがわかる。

問G. 授業テーマへの関心度	0.6906
問H. 総合満足度	0.6652
問E. 授業への意欲度	0.5641
問B. 板書・教材の理解	0.5537
問A. 講義の聞き取りやすさ	0.5465

※相関係数とは：2つの要因についてどれくらい関係が強いかを示す指標。相関係数は-1から+1の間の数値をとり、相関係数と相関の高さの関係は、一般的に以下のとおり。

相関係数：相関の高さ
1.0～0.7：高い相関がある
0.7～0.5：かなり高い相関がある
0.5～0.4：中程度の相関がある
0.4～0.3：ある程度の相関がある
0.3～0.2：弱い相関がある
0.2～0.0：ほとんど相関がない

●学生の満足度評価：各項目別

【学生の満足度(学部全体)】

「そう思う(計)」「かなりそう思う」+「そう思う」、以下同じ)は92.8%で、平均をやや上回った。
また、「思わない」と回答した学生は1.5%で、平均をやや下回った。

【学生の満足度(クラス規模別)】

「そう思う(計)」が最も高いのは、300名以上のクラス規模で96.7%だった。次いで高いのは、50名未満のクラスの規模で95.0%だった。文学部では、クラス規模による大きな満足度の差はみられなかった。

【学生の満足度(学年別)】

「そう思う(計)」が最も高かったのは「4年」(94.9%)で、最も低かったのは「1年」(88.1%)だった。「1年」は、他の学年に比べてやや低い。

学年が上がるにつれ、満足度は高くなる傾向にある。

【学生の満足度(学科別)】

「そう思う(計)」が最も高かった学科は「史学科」(93.4%)で、最も低かったのは「外国語文化科」(91.6%)であったが、学科による大きな差異はみられなかった。

【学生の満足度(曜日・時限別)】

「そう思う(計)」が最も高かった曜日は「月曜」(94.9%)で、最も低かったのは「木曜」(91.7%)であったが、曜日による大きな差異はみられなかった。

「そう思う(計)」が最も高かった時限は「6時限」(94.8%)で、最も低かったのは「4時限」(91.9%)であったが、時限による大きな差異はみられなかった。

【学生の満足度(科目区分別)】

中国文学科・外国語文化学科では、必修科目と選択科目の間で大きな差異はみられなかった。

一方、日本文学科・史学科・哲学科では、必修科目と選択科目の間で差異がみられた。「そう思う(計)」について、日本文学科での差が最も大きく、選択科目が8.2ポイント高かった。

【学生の満足度と他の項目との相関】

上位5項目は、次のとおりであった。

総合満足度と、「授業テーマへの関心度」「全体理解度」は、関係性があることがわかる。特に「授業テーマへの関心度」との間には、高い相関がみられる。

問G. 授業テーマへの関心度	0.7925
問F. 全体理解度	0.6652
問A. 講義の聞き取りやすさ	0.6251
問B. 板書・教材の理解	0.6135
問C. 教員の意欲度	0.5619

<法学部>

●回答者プロフィール

【出席率】

法学部の出席状況は、全て出席32.2%、ほとんど出席48.1%、2/3程度出席15.6%、半分くらい出席3.1%、1/3程度出席0.7%、ほとんど出席せず0.3%であった。

●学生の理解度評価：各項目別

【学生の理解度(学部全体)】

「そう思う(計)」(「かなりそう思う」+「そう思う」、以下同じ)は83.0%と、平均を4.8ポイント下回った。また、「思わない」と回答した学生は2.3%で、平均を0.5ポイント上回った。

【学生の理解度(クラス規模別)】

「そう思う(計)」は50名未満のクラス規模で93.8%と最も高く、クラス規模が大きくなるにつれ理解度が低下するが、300名を超えると上昇する。50名未満のクラス規模で理解度が最大となる理由として考えられるのは、小規模の方が学生への理解配慮が行き届きやすいことや、教員と学生間のコミュニケーションの取りやすいこと等があげられる。一方、300名を超えると上昇するという点については、「人気がある授業だから履修を希望する学生が集中した」とも考えられる。しかし、多人数授業において実践された教員の働きかけについて、学生や教員に聴取し、全学的に共有することは今後の更なる改善につながるといえる。

【学生の理解度(学年別)】

「そう思う(計)」が最も高かったのは「4年」(87.3%)で、最も低かったのは「1年」(79.1%)だった。「1年」「2年」は平均よりやや低く、「3年」「4年」は平均よりやや高い、という2層に分かれているのが、法学部の特徴である。

【学生の理解度(学科別)】

「そう思う(計)」が最も高かった学科は「法律学科政治専攻」(90.3%)で、最も低かったのは「法律学科法律専門職専攻」(82.7%)であった。学科により、やや差異がみられる。

【学生の理解度(曜日・時限別)】

「そう思う(計)」が最も高かった曜日は「土曜」(90.2%)で、最も低かったのは「月曜」(78.8%)であった。月曜日のみ、やや低かった。「そう思う(計)」が最も高かった時限は「7時限」(91.8%)で、最も低かったのは「1時限」(77.8%)であった。7時限目は、やや高めであった。

【学生の理解度(科目区分別)】

必修科目は「政治専攻」のみのため参考値となるが、「そう思う(計)」について、選択科目より必修科目が10.7ポイント高く、大きな差異がみられた。

【学生の理解度と他の項目との相関】

上位5項目は次のとおりであった。

理解度と、「授業テーマへの関心」「満足度」は、関係性があることがわかる。特に「授業テーマへの関心度」との間には、高い相関がある。

問G. 授業テーマへの関心度	0.7197
問H. 総合満足度	0.6954
問E. 授業への意欲度	0.5837
問A. 講義の聞き取りやすさ	0.5425
問B. 板書・教材の理解	0.5310

●学生の満足度評価：各項目別

【学生の満足度(学部全体)】

「そう思う(計)」「かなりそう思う」+「そう思う」、以下同じ)は89.9%と平均を下回った。
また、「思わない」と回答した学生は2.3%で、平均を上回った。

【学生の満足度(クラス規模別)】

「そう思う(計)」が最も高いのは、50名未満のクラス規模で97.1%であった。クラス規模が大きくなるにつれ満足度は低下し、300名を超えると上昇する。
50名未満のクラス規模で満足度が最大となる理由として考えられるのは、小規模の方が学生への理解配慮が行き届きやすいことや、教員と学生間のコミュニケーションの取りやすいこと等があげられる。
一方、300名を超えると増加するという点については、「人気がある授業だから履修を希望する学生が集中した」とも考えられる。しかし、多人数授業において実践された教員の働きかけについて、学生や教員に聴取し、全学的に共有することは今後の更なる改善につながるといえる。

【学生の満足度(学年別)】

「そう思う(計)」が最も高かったのは「4年」(93.2%)で、最も低かったのは「1年」(86.8%)だった。
学年が上がるにつれ、満足度は高くなる傾向にある。

【学生の満足度(学科別)】

「そう思う(計)」が最も高かった学科は「法律学科政治専攻」(93.3%)で、最も低かったのは「法律学科法律専門職専攻」(90.1%)であったが、学科による大きな差異はみられなかった。

【学生の満足度(曜日・時限別)】

「そう思う(計)」が最も高かった曜日は「土曜」(94.7%)で、最も低かったのは「金曜」(87.9%)であったが、曜日による大きな差異はみられなかった。
「そう思う(計)」が最も高かった時限は「7時限」(96.4%)で、最も低かったのは「3時限」(86.9%)であった。
時限による大きな差異はみられなかった。

【学生の満足度(科目区分別)】

必修科目と選択科目の間で、満足度にやや差異がみられた。
「そう思う(計)」について、必修科目が6.7ポイント高かった。

【学生の満足度と他の項目との相関】

上位5項目は、次のとおりであった。

総合満足度と、「授業テーマへの関心度」「全体理解度」は、関係性があることがわかる。特に「授業テーマへの関心度」との間には、高い相関がみられる。

問G. 授業テーマへの関心度	0.7778
問F. 全体理解度	0.6954
問A. 講義の聞き取りやすさ	0.5968
問B. 板書・教材の理解	0.5907
問C. 教員の意欲度	0.5444

<経済学部>

●回答者プロフィール

【出席率】

経済学部の出席状況は、全て出席38.1%、ほとんど出席46.7%、2/3程度出席12.8%、半分くらい出席1.6%、1/3程度出席0.4%、ほとんど出席せず0.3%であった。

●学生の理解度評価：各項目別

【学生の理解度(学部全体)】

「そう思う(計)」「かなりそう思う」+「そう思う」、以下同じ)は87.2%と、平均をやや下回っているが、「思わない」と回答した学生も1.6%と、こちらも平均をやや下回っている。

【学生の理解度(クラス規模別)】

「そう思う(計)」は50名未満のクラス規模で92.9%と最も高く、クラス規模が大きくなるにつれ理解度が低下するが、300名を超えると上昇する。

50名未満のクラス規模で理解度が最大となる理由として考えられるのは、小規模の方が学生への理解配慮が行き届きやすいことや、教員と学生間のコミュニケーションの取りやすいこと等があげられる。

一方、300名を超えると上昇するという点については、「人気がある授業だから履修を希望する学生が集中した」とも考えられる。しかし、多人数授業において実践された教員の働きかけについて、学生や教員に聴取し、全学的に共有することは今後の更なる改善につながるといえる。

【学生の理解度(学年別)】

「そう思う(計)」が最も高かったのは「3年」(90.4%)で、最も低かったのは「1年」(84.1%)だった。「1年」は他の学年と比べて、理解度がやや低い傾向であった。

【学生の理解度(学科別)】

「そう思う(計)」が最も高かった学科は「経済ネットワーク学科」(87.8%)で、最も低かったのは「経済学科」(86.6%)であった。学科による大きな差異は、みられなかった。

【学生の理解度(曜日・時限別)】

「そう思う(計)」が最も高かった曜日は「金曜」(91.3%)で、最も低かったのは「木曜」(85.8%)であったが、曜日による差異の特徴はみられなかった。

「そう思う(計)」が最も高かった時限は「6時限」(96.0%)で、最も低かったのは「7時限」(80.2%)であった。6時限目は、やや高めであった。

【学生の理解度(科目区分別)】

経済学部では、必修科目と選択科目の間に、大きな差異はみられなかった。

【学生の理解度と他の項目との相関】

上位5項目は次のとおりであった。

理解度と、「授業テーマへの関心」「満足度」は、関係性があることがわかる。特に「授業テーマへの関心度」との間には、高い相関がある。

問G. 授業テーマへの関心度	0.7094
問H. 総合満足度	0.6974
問A. 講義の聞き取りやすさ	0.5838
問E. 授業への意欲度	0.5690
問B. 板書・教材の理解	0.5667

●学生の満足度評価：各項目別

【学生の満足度(学部全体)】

「そう思う(計)」「かなりそう思う」+「そう思う」、以下同じ)は92.2%で、平均をやや上回った。
また、「思わない」と回答した学生は1.7%で、平均をやや下回った。

【学生の満足度(クラス規模別)】

「そう思う(計)」は、50名未満のクラス規模で96.0%と最も高く、クラス規模が大きくなるにつれ満足度は低下し、300名を超えると上昇する。

50名未満のクラス規模で満足度が最大となる理由として考えられるのは、小規模の方が学生への理解配慮が行き届きやすいことや、教員と学生間のコミュニケーションの取りやすいこと等があげられる。

一方、300名を超えると増加するという点については、「人気がある授業だから履修を希望する学生が集中した」とも考えられる。しかし、多人数授業において実践された教員の働きかけについて、学生や教員に聴取し、全学的に共有することは今後の更なる改善につながるといえる。

【学生の満足度(学年別)】

「そう思う(計)」が最も高かったのは「4年」(95.5%)で、最も低かったのは「1年」(89.4%)だった。
学年が上がるにつれ、満足度は高くなる傾向にある。

【学生の満足度(学科別)】

「そう思う(計)」が最も高かった学科は「経済ネットワーク学科」(92.1%)で、最も低かったのは「経済学科」(91.1%)であったが、学科による大きな差異はみられなかった。

【学生の満足度(曜日・時限別)】

「そう思う(計)」が最も高かった曜日は「金曜」(95.3%)で、最も低かったのは「木曜」(90.6%)であったが、曜日による差異の特徴はみられなかった。

「そう思う(計)」が最も高かった時限は「6時限」(99.1%)で、最も低かったのは「4時限」(88.6%)であったが、時限による大きな差異はみられなかった。

【学生の満足度(科目区分別)】

必修科目と選択科目の間で、大きな差異はみられなかった。

【学生の満足度と他の項目との相関】

上位5項目は、次のとおりであった。

総合満足度と、「授業テーマへの関心度」「全体理解度」は、関係性があることがわかる。特に「授業テーマへの関心度」との間には、高い相関がみられる。

問G. 授業テーマへの関心度	0.7769
問F. 全体理解度	0.6974
問A. 講義の聞き取りやすさ	0.6488
問B. 板書・教材の理解	0.6200
問C. 教員の意欲度	0.5998

<神道文化学部>

●回答者プロフィール

【出席率】

神道文化学部の出席状況は、全て出席39.3%、ほとんど出席47.8%、2/3程度出席11.2%、半分くらい出席1.2%、1/3程度出席0.2%、ほとんど出席せず0.3%であった。

●学生の理解度評価：各項目別

【学生の理解度(学部全体)】

「そう思う(計)」「かなりそう思う」+「そう思う」、以下同じは87.8%と、平均と同じであった。また、「思わない」と回答した学生は1.7%で、こちらも平均とほぼ同じであった。

【学生の理解度(クラス規模別)】

「そう思う(計)」は50名未満のクラス規模で93.8%と最も高く、クラス規模が大きくなるにつれ理解度が低下する。神道文化学部では実技科目が多いため、学生への理解配慮が行き届きやすく、教員と学生間のコミュニケーションが取りやすいと考えられる50名未満の小規模クラスで高い理解度を示しているといえる。一方、50名以上の各クラス規模では、大きな差がみられなかった。

【学生の理解度(学年別)】

「そう思う(計)」が最も高かったのは「4年」(92.1%)で、最も低かったのは「1年」(84.3%)だった。学年が上がるにつれ、理解度が高くなる傾向があった。

【学生の理解度(学科別)】

「神道文化学科(夜)」の「そう思う(計)」は、(88.3%)、「神道文化学科(昼)」(87.6%)であった。「神道文化学科(昼)」と「神道文化学科(夜)」の間に、大きな差異は、みられなかった。

【学生の理解度(曜日・時限別)】

「そう思う(計)」が最も高かった曜日は「水曜」(92.7%)で、最も低かったのは「土曜」(80.3%)であった。土曜日のみ、やや低かった。「そう思う(計)」が最も高かった時限は「5時限」(91.1%)で、最も低かったのは「3時限」(82.1%)であったが、時限による大きな差異はみられなかった。

【学生の理解度(科目区分別)】

必修科目と選択科目の間に、やや差異がみられた。「そう思う(計)」について、必修項目が5.7ポイント高かった。

【学生の理解度と他の項目との相関】

上位5項目は次のとおりであった。

理解度と、「授業テーマへの関心度」「総合満足度」は、関係性があることがわかる。

問G. 授業テーマへの関心度	0.6580
問H. 総合満足度	0.6437
問E. 授業への意欲度	0.5852
問A. 講義の聞き取りやすさ	0.5564
問B. 板書・教材の理解	0.5529

●学生の満足度評価：各項目別

【学生の満足度(学部全体)】

「そう思う(計)」「かなりそう思う」+「そう思う」、以下同じ)は94.2%で、全学部中最高であった。また、「思わない」と回答した学生は1.4%で、全学部中で最も低かった。

【学生の満足度(クラス規模別)】

「そう思う(計)」は、50名未満のクラス規模が最も高く、97.2%であった。また、全てのクラス規模で「そう思う(計)」が90%を超えているのは、神道文化学部のみであった。

【学生の満足度(学年別)】

「そう思う(計)」が最も高かったのは「4年」(97.5%)で、最も低かったのは「1年」(91.8%)だった。学年が上がるにつれ、満足度は高くなる傾向にある。また、全ての学年で、「そう思う(計)」が90%を超えている。

【学生の満足度(学科別)】

「神道文化学科(夜)」の「そう思う(計)」は、(94.6%)、「神道文化学科(昼)」(93.2%)であった。「神道文化学科(昼)」と「神道文化学科(夜)」の間に大きな差異は、みられなかった。

【学生の満足度(曜日・時限別)】

「そう思う(計)」が最も高かった曜日は「水曜」(97.0%)で、最も低かったのは「土曜」(91.2%)であったが、曜日による大きな差異はみられなかった。「そう思う(計)」が最も高かった時限は「5時限」(97.3%)で、最も低かったのは「3時限」(90.1%)であったが、時限による大きな差異はみられなかった。

【学生の満足度(科目区分別)】

必修科目と選択科目の間で、大きな差異はみられなかった。

【学生の満足度と他の項目との相関】

上位5項目は、次のとおりであった。

総合満足度と、「授業テーマへの関心度」「全体理解度」は、関係性があることがわかる。特に「授業テーマへの関心度」との間には、高い相関がみられる。

問G. 授業テーマへの関心度	0.7673
問F. 全体理解度	0.6437
問A. 講義の聞き取りやすさ	0.6146
問B. 板書・教材の理解	0.5915
問C. 教員の意欲度	0.5750

<人間開発学部>

●回答者プロフィール

【出席率】

人間開発学部の出席状況は、全て出席46.0%、ほとんど出席43.9%、2/3程度出席8.6%、半分くらい出席1.2%、1/3程度出席0.2%、ほとんど出席せず0.1%であった。

●学生の理解度評価：各項目別

【学生の理解度(学部全体)】

「そう思う(計)」「かなりそう思う」+「そう思う」、以下同じ)は90.1%と、全学部中最も高かった。

また、「思わない」と回答した学生は1.4%と、こちらは全学部中最も低かった。

これは、人間開発学部は、3学科ともに小規模クラスが多いことや、「ルーム制」を実施している影響とみられる。

【学生の理解度(クラス規模別)】

「そう思う(計)」は50名未満のクラス規模で96.2%と最も高く、50名以上のクラス規模との間には、理解度に差がみられる。

50名未満のクラス規模で最大となる理由として考えられるのは、小規模の方が学生への理解配慮などが行き届きやすいことや、教員と学生間のコミュニケーションがとりやすいこと等があげられる。

一方で、50名以上のクラスでは、クラス規模と理解度の間に関係性はみられない。

【学生の理解度(学年別)】

「そう思う(計)」が最も高かったのは「4年」(91.7%)で、最も低かったのは「1年」(88.5%)だった。学年による大きな差異はみられず、「そう思う(計)」の平均が90%を超えた唯一の学部である。

【学生の理解度(学科別)】

「そう思う(計)」が最も高かった学科は「初等教育学科」(89.2%)で、最も低かったのは「子ども支援学科」(86.1%)であった。学科による大きな差異は、みられなかった。

【学生の理解度(曜日・時限別)】

「そう思う(計)」が最も高かった曜日は「土曜」(94.7%)で、最も低かったのは「月曜」(83.3%)であった。月曜日のみ、他の曜日と比べてやや低かった。

「そう思う(計)」が最も高かった時限は「6時限」(100%)で、最も低かったのは「3時限」(89.2%)であった。ただし、「6時限」はサンプル数が少ない(15S)。「6時限」を除くと、時限による大きな差異はみられなかった。

【学生の理解度(科目区分別)】

必修科目と選択科目の間に、差異がみられた。「そう思う(計)」について、いずれの学科も、必修科目より選択科目のほうが、高かった。

その差は、初等教育学科では11.4ポイントと大きく、健康体育学科では7.4ポイント、子ども支援学科では8.2

【学生の理解度と他の項目との相関】

上位5項目は次のとおりであった。

理解度と、「授業テーマへの関心度」「総合満足度」は、関係性があることがわかる。特に「授業テーマへの関心度」との間には、高い相関がある。

問G. 授業テーマへの関心度	0.7161
問H. 総合満足度	0.6865
問A. 講義の聞き取りやすさ	0.6134
問B. 板書・教材の理解	0.5976
問E. 授業への意欲度	0.5419

●学生の満足度評価：各項目別

【学生の満足度(学部全体)】

「そう思う(計)」「かなりそう思う」+「そう思う」、以下同じ)は91.5%で、平均とほぼ同じだった。また、「思わない」と回答した学生も同様に、ほぼ平均の2.0%であった。

【学生の満足度(クラス規模別)】

「そう思う(計)」は、50名未満のクラス規模で96.2%と最も高かった。50名未満のクラス規模で満足度が最大となる理由として考えられるのは、小規模の方が学生への理解配慮が行き届きやすいことや、教員と学生間のコミュニケーションの取りやすいこと等があげられる。

【学生の満足度(学年別)】

「そう思う(計)」が最も高かったのは「4年」(93.9%)で、最も低かったのは「1年」(90.7%)だった。学年が上がるにつれ、満足度は高くなる傾向にあるが、全ての学年で、「そう思う(計)」が90%を超えており、学年による大きな差はみられない。

【学生の満足度(学科別)】

「そう思う(計)」が最も高かった学科は「初等教育学科」(90.2%)で、最も低かったのは「子ども支援学科」(88.5%)であったが、学科による大きな差異はみられなかった。

【学生の満足度(曜日・時限別)】

「そう思う(計)」が最も高かった曜日は「木曜」(95.1%)で、最も低かったのは「月曜」(86.5%)であった。「月曜」のみ、他の曜日と比べて、やや低かった。「そう思う(計)」が最も高かった時限は「5時限」(97.0%)で、最も低かったのは「1時限」と「3時限」(90.4%)であった。サンプル数が少なかった「6時限」(15S)を除き、時限による大きな差異はみられなかった。

【学生の満足度(科目区分別)】

必修科目と選択科目の間で、満足度に差異がみられた。「そう思う(計)」について、全ての学科で必修科目より選択科目のほうが高かった。必修科目と選択科目の間に最も大きな差があったのは初等教育学科で、8.5ポイントあった。

【学生の満足度と他の項目との相関】

上位5項目は、次のとおりであった。

総合満足度と、「授業テーマへの関心度」「全体理解度」は、関係性があることがわかる。特に「授業テーマへの関心度」との間には、高い相関がみられる。

問G. 授業テーマへの関心度	0.7872
問F. 全体理解度	0.6865
問A. 講義の聞き取りやすさ	0.6332
問B. 板書・教材の理解	0.6259
問C. 教員の意欲度	0.5982

<教養総合科目>

●理解度

【学生の理解度(科目区分別)】

「そう思う(計)」について、「教養総合実技」(97.5%)が最も高く、次いで「別科必修」(95.2%)、「教職課程」(94.0%)、「博物館学課程」(91.8%)、「教養総合」(91.6%)のスコアが高かった。

また、「社会教育主事課程」(71.7%)が最も低かった。

【学生の理解度(科目別)】

教養総合科目の科目ベストを分析すると以下のとおりである。回答数50人以上(対象206科目)で、全体理解度(問F)の「そう思う(計)」が95.0%以上の科目(45科目)を抽出した。

Ad English (資格英語)
English II Business I
English II Business II
English II (神道英語II)
中国語中級BI
スポーツ・身体文化IA
スポーツ・身体文化IB
基礎日本語 (リテラシー)
基礎日本語 (文章表現)
キャリアデザイン
キャリアデザイン応募書類型文章ー標準
キャリアデザイン (小論文ー基礎)
キャリアデザイン応募書類型文章ー応用
コンピュータ技術演習 (活用入門)
コンピュータ技術演習 (メディア発信)
神道と現代社会041
民衆文化と生活077
比較文化・比較文学088
言語と文化029
言語と文化080
社会のなかの人間030
社会のなかの人間036
社会のなかの人間081
社会と歴史067
社会構造と市民070

社会構造と市民085
思想と文化079
言語と思想036
地球と環境103
人間と自然002
情報の科学047
教職論
国語科教育法I
国語科教育法II
英語科教育法I
社会科教育法 (4)
道徳教育の理論と方法 (中・高)
特別活動の理論と方法 (中・高)
教職実践演習
教育実習IA (事前指導)
情報資源組織論II
博物館実習IV
博物館資料論
博物館資料保存論
教育相談

●満足度

【学生の満足度(科目区分別)】

「そう思う(計)」について、「別科必修」(99.5%)が最も高く、次いで「教養総合実技」(98.1%)、「教職課程」(95.9%)、「教養総合演習」(95.2%)、「博物館学課程」(93.9%)のスコアが高かった。また、「社会教育主事課程」(84.4%)が最も低かった。

【学生の満足度(科目別)】

教養総合科目の科目ベストを分析すると以下のとおりである。回答数50人以上(対象205科目)で、全体満足度(問H)の「そう思う(計)」が97.0%以上の科目(49科目)を抽出した。

English II (S&W)
English IIBusinessII
中国語基礎A I
中国語基礎I (日文)
中国語基礎II (日文)
スポーツ・身体文化I A
スポーツ・身体文化I B
基礎日本語(文章表現)
キャリアデザイン
キャリアデザイン応募書類型文章-標準
キャリアデザイン(小論文-基礎)
コンピュータ技術演習(活用入門)
コンピュータ技術演習(メディア発信)
神道と現代社会041
歴史のなかの人間079
歴史のなかの人間085
民衆文化と生活077
比較文化・比較文学061
比較文化・比較文学079
比較文化・比較文学080
比較文化・比較文学088
社会のなかの人間016
社会のなかの人間030
社会のなかの人間032
社会のなかの人間036

社会構造と市民025
社会構造と市民037
社会構造と市民070
芸術と人間071
思想と文化023
思想と文化048
思想と文化079
知識と感性080
言語と思想036
地球と環境103
人間と自然002
国語科教育法I
英語科教育法I
社会科教育法(4)
道徳教育の理論と方法(中・高)
特別活動の理論と方法(中・高)
教職実践演習
教育実習I A(事前指導)
情報資源組織論II
情報資源組織演習II
博物館概論
博物館実習IV
博物館資料論
博物館資料保存論